

## ◇鈴木正洋君

○議長（澁谷俊二君） 次に、3番、鈴木正洋君の一般質問を許可いたします。鈴木正洋君、登壇願います。

（3番 鈴木正洋君 登壇）

○3番（鈴木正洋君） 通告に基づき一般質問をいたします。

子育て世帯の家計負担を軽くするため、小学校の子供たちが背負うランドセルをリュックに変更してはどうでしょうか。

小学校へ入る際には用意しなければならない学用品がたくさんあります。入学前の説明会で保護者に渡されるプリントを六郷小学校の職員の方から見せてもらいました。必要なものの一覧にはランドセルと明記されていました。

子供の7人に1人が貧困と言われている時代です。秋田県民は見えっ張りなところがあり、貧困が外からは見えにくいという話もあります。ランドセルの平均的な価格は4万円台だそうです。裕福な家庭であっても決して軽いとは言えない出費額だと私は思います。

このような状況に対して、ランドセル購入の支援策を講じている自治体もあります。福岡県大任町ではことし4月に入学する約50人の児童全員にランドセルを現物支給することを決めました。また、大分県豊後高田市はランドセルの購入費としてひとり親家庭に2万円を助成することを決めたそうです。福井市の市役所では、使われなくなったランドセルの寄附を募り、必要としている家庭に届けるリユース事業を行っています。

いずれもすばらしい支援策だと思いますが、しかし、そもそも一番の問題点はランドセルが高価であるということです。根本的な解決策は、児童の通学かばんをランドセル以外のものに切りかえることではないかと私は考えます。

北海道小樽市にはナップランド、京都府宇治市にはランリュックと呼ばれる通学かばんがあります。ランドセルよりも安価で、布製のため軽く、大きなA4ファイルサイズの書類も入るような構造となっています。また、ランドセルとは違い、リュックなので遠足に背負っていくこともできます。こちらが小樽市で使われているナップランドと呼ばれているものです。横にリコーダーが挿せるようになっていたりだとか、あとはネームプレートがつけられるように、あとは校章が入るように、あとは肩のあたりに防犯ブザーなどがつけられるようになっていきます。

ちなみに、ナップランドというのはナップサックとランドセルを掛け合わせた造語だそうです。

このナップランドですが、私は一番無難な黒を購入しましたがけれども、中にはピンクなどのカラフルな色もあり、おしゃれなツートンカラーなどもあり、11種類のバリエーションがあるそう

です。価格は約7,000円と、ランドセルの約6分の1となっています。小樽市では新入学児童の約7割がナップランドを購入するそうです。

美郷町もナップランドのようなリュックの使用を教育委員会が推奨し、学生用品納入組合の加盟店が販売するようにはどうかと私は考えます。ランドセルをリュックに切りかえることは町内の消費拡大にとっても効果があります。ランドセルは町外の大型店で購入されているのが実情かと思います。地元企業からリュックを購入することになれば消費の流出を減らすことにもなります。また、リュックを背負って通学する児童たちの姿は、美郷町の子育て支援は充実しているというメッセージを発信することになります。美郷町の子供はランドセルじゃないのかと気づいた人が子供を連れて美郷町へ引っ越してくることも考えられます。

以上、児童の通学かばんをランドセルからリュックに変更することについて、福田教育長にご所見をお伺いいたします。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。教育長、登壇願います。

（教育長 福田世喜君 登壇）

○教育長（福田世喜君） ただいまのご質問にお答えいたします。

児童の通学用かばんについてであります。これまで町教育委員会では、通学用かばんが通学時の使用において安全であるか、学習用具がしっかり保護されるか、耐久性や価格がどうかなどに考慮して、保護者の理解が得られるものを各学校の裁量で定めることとしてきております。

町内3小学校における通学用かばんの現状ですが、ランドセルを指定しているのは六郷小学校と千畑小学校です。仙南小学校はランドセルの指定はしておりませんし、2月の入学説明会でもランドセルについての説明はしておりません。そのような中ですが、仙南小学校を含め美郷町の3小学校では全児童がランドセルを使用している状況です。

六郷小学校と千畑小学校からランドセルを指定している理由を聞きまして、児童の体に負担がかかりにくいこと、背中から転倒した際に児童を保護してくれること、中に入れた学習用具の保護機能がすぐれていること、6年間の使用に耐えられる高い耐久性があることなどを挙げておりました。そして、町内の3小学校における入学説明会などにおいて、保護者からはランドセル以外への変更要望は出ていないということです。

また、ランドセルの値段について調べたところ、近隣の大型商業施設で販売されているランドセルの値段は2万5,000円から7万円台であり、インターネットでは1万円以下の商品も紹介されておりました。

一方、大仙市では8,000円ほどのリュックタイプの通学用かばんを使用している小学校が21校中

2校ありました。その2校ではリュックタイプの通学用かばんの情報を提供するとともに、ランドセルも許可しているとのことでした。リュックタイプとランドセルの使用の割合ですが、1つの学校ではリュックタイプが8割程度なのに対し、別の学校ではリュックタイプとランドセルの割合が同じくらいということでした。

以上のような現状を踏まえますと、ご質問の通学用かばんの変更を町教育委員会が方向づけることは適切でなく、最初に述べましたように、通学用かばんが通学時の使用において安全であるかなどの幾つかの条件を考慮して、保護者の理解が得られるものを各学校の裁量で定めるべきだと考えております。

○議長（澁谷俊二君） 再質問ありますか。（「はい」の声あり）3番、鈴木正洋君の再質問を許可いたします。

○3番（鈴木正洋君） 各学校の裁量で定めるべきというお考えでしたけれども、そうしますと六郷小学校でランドセルと明記されているところは変更していただける可能性もあると捉えてよろしいでしょうか。

あともう一つ、私、この件に関して推奨ということをお願いしたいなと思いましたが、一番この件にとって大事なことは、利用者の意識改革を図ることだと思います。今は、町内の3小学校に通う人たちは、小学校に入ったらランドセルを背負うものだという思い込みがあるものだと考えております。ランドセルでなくてもいいんだよと、リュックでもいいんだよという共通理解がされてないと、ランドセルでなくてもいいんですよということを言っても結局それは伝わらない、有名無実な決まりとなってしまうのではないかなと私は思いますので、その利用者の意識改革のためにどのような取り組みをされるのかということについてお伺いしたいと思います。

○議長（澁谷俊二君） 答弁を求めます。教育長、自席でお願いします。

○教育長（福田世喜君） ただいまの再質問にお答えいたします。

先ほど述べましたように、各学校の裁量で定めることができるということですので、そこはまた各学校で検討していただければと思っております。

それから、保護者等がランドセルだけという思い込みがあるのではないかということですが、その辺については各学校に情報提供なり、大仙市の例をお話ししましたが、そういうところもあるよということは情報提供して、学校が保護者とその辺のように情報を交換しながら検討していくかということで見守りたいと思っております。

○議長（澁谷俊二君） 再々質問ありますか。（「はい」の声あり）3番、鈴木正洋君の再々質問を許可いたします。

○3番（鈴木正洋君） 私が心配しますのは、リュックを買った家庭がごく一部で、結局恥ずかしい思いをすることがないように、あそこのうちはランドセルを買えないからリュックを買ったんだということがないように、ぜひその辺、保護者の方と理解を深めていただけるような、そういう情報の伝え方をしていただきたいものだなと思います。

○議長（澁谷俊二君） 答弁必要ですか。（「いいえ」の声あり）

これで、3番、鈴木正洋君の一般質問を終わります。